	1年次	2年次	3年次	4年次
4年間の流れ	基礎をしっかり身につける ●政策学を学ぶうえで必要となる基礎知識を修得する科目を受講。 ●「基礎演習」で、大学での学びの基本「読み・書き、語り、調べ、考える」を身につける。 ●「政策学入門（経済学・政治学・法律学）」や「政策学を学ぶ」などで、政策学の基本を学ぶ。	自分にぴったりのコースを選択 ●話し合いの構造やプロセスを学ぶ「コミュニケーション・ワークショップ演習」で、参加・協働型社会に必要な話し合い能力の育成を図る。 ●後期からは「政策構想・環境創造・地域公共人材」の3つまたは学部共通コースのなかから自分に合うコースを選び、専門的に学ぶ。	専門性を身につけ社会を見る目をじっくり鍛える ●コースごとに専門性を高めるプログラムを展開。 ●フィールドワークやインターンシップなど、地域や企業、NPOの現場に入って実践的に学ぶ。 ●2年次後期から一貫したゼミに所属し、卒業研究を制作するための準備がスタート。	進路を見据えた学び、活動、そして4年間の総括 ●4年間の学びの集大成として、ゼミ活動やRyu-SEI GAPなどでの研究成果をまとめた卒業研究に取り組む。 ●就職活動も本格的に始まり、学部で経験してきたことを企業に伝え自己アピールするうちに、自身の活動や成長を振り返るきっかけに。
専攻科目	［専攻導入科目］ ●基礎演習Ⅰ、Ⅱ　●政策学を学ぶ ●持続可能性と共生を学ぶ ●現代社会の市民性を学ぶ　など ［専攻基本科目］ ●政策学入門（政治学）●政策学入門（法律学） ●政策学入門（経済学） ●政策学のための統計・数学　など グローバル・シチズンシップ・エデュケーション科目 （公共性・コミュニティ、民主主義、平和構築、人間の安全保障）	▶ 政策構想コース ●地域・都市政策プログラム ●国際・比較政策プログラム 日本、そして世界の地域政策を学ぶ ●地域・都市政策総論 環境創造コース 環境にやさしい社会を実現する政策主体の役割を創造する ●環境政策総論 地域公共人材コース 地域社会および地域政策の担い手としての職業人をめざす ●地域公共人材総論 学部共通コース		
演習科目	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 地域課題発見演習	コミュニケーション・ワークショップ演習	演習Ⅰ 政策学研究発展演習Ⅰ～Ⅴ キャリア・コミュニケーション演習 企業のCSR実践演習 グローカル戦略実践演習 政策実践・探究演習（国内）・（海外）	演習Ⅱ（卒業研究含む）